

校長だより 5月

第2号 平成29年5月31日

大阪府立光陽支援学校 校長 益子典子

運動会 頑張りました。

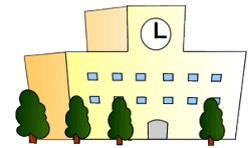
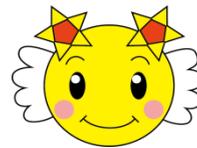


5月20日(土) 雲ひとつない青空のもと、平成29年度の運動会が行われました。

午前の部のプログラムは、各学部競技と応援合戦でした。子どもたちは観客のみなさんの声援の中、キリリと引き締まった顔で競技に挑んでいました。応援合戦では、4つのグループ各々が、曲に合わせてダンスに楽しく取り組みました。午後の部はPTA競技で始まり、本校のキャラクター“こうやん”も登場。大いに盛り上がりました。その後はミックス競技や徒競走、リレーというプログラムでした。それぞれが自分の一番「いいところ」を観ていただけたのではないのでしょうか。

小・中・高の学部を超え、光陽がひとつになって楽しんだ一日でした。お忙しい中、ご観覧いただき有難うございました。またご意見等いただけましたら、次年度以降に活かしていきたいと思えます。よろしくお願いたします。

創立記念日 5月23日(火)



「Go!Go!光陽!」～光陽は55周年をむかえました～

本校創立は昭和37年、小学部27名、高等部14名 計41名でスタートしました。当時、高等部はありませんでした。校長室にある古い資料を少し調べてわかったことがあります。第1回の運動会は昭和37年10月11日、お相撲さんが5人も来校し、デモンストレーションをされたそうです。遠足は天王寺動物園や服部緑地、阪神パークなど。中学部の修学旅行は東京・箱根方面だったようです。いろいろ調べてみると興味はつきませんね。

本校の校歌は、初代 田和 博 校長が作詞、野本信夫 教頭が作曲されたそうです。「みがき続けるところからだ」という歌詞が1番から3番、すべてに入っていますね。それは、健康な体と精神をめざし、努力し続けることの大切さを強くうたったものです。「この校歌が本校児童生徒に愛唱され心の糧となり、幸福に強く生き抜く気力の養成に役立つことを願ってやまないのである。」(学校長 田和 博「光陽養護学校新聞」第2号1963.11.20発行)とあります。創立時から少しずつ児童生徒数が増え、高等部ができ、校舎も増築されましたが、55年が経っても子どもたちの健康や幸福を願う学校であることに変わりはありません。これからもますます、子どもたちが毎日「元気に」「明るく」通う学校となるよう努めていきたいと思えます。